

[1] 研究目的

自然体験指導者をはじめ、アウトドア愛好家、
青少年まで自然を力かかちるあらゆる人に必要な
「ミニマムT=107」を實現できるポイントとした
原則を周知し、環境保護倫理の啓発と向上に努める。
さらに、リーフレットを作成し各関係者及び市民へ配布
を実施する。

[2] 研究の内容・方法

[内容]

"Leave No Trace (LNT)" 原則の周知と行動を呼びかける。
独自のリーフレットを作成し配布

[方法・手順]

- ① LNT原文(英語)を日本語へ翻訳作業
- ② 日本語翻訳を北米LNTセンターへ照会し承認作業
- ③ デジタルデザイナーにリーフレットを製作(10,000部)
- ④ 配布設置箇所を選定、交通設置および配布
- ⑤ 可能な場所ではLNT概念ワークショップを開催

[成果]

下記の事業所・組織、公共施設にリーフレットの設置が可能となった。

- Uの自然学校登録全会員及び夏期ホの参加小学生
- 日野市立みなみだいら児童館ふらぬと(小学生~中学生)
- 日野市立駅前ミニ子育て応援施設モブモブ(乳幼児親子)
- 山梨県立ハヤシ少年自然の家(青少年及び指導者研修施設)
- 国立中央青少年交流の家(同上)
- 静岡県立朝霧野外活動センター(同上)
- 川崎市立黒川野外活動センター(同上)
- Wilderness Risk Management Conference会場
(野外活動指導者・事業者の安全管理ネットワーク)
- Social education network for outdoor education.
(野外活動指導者ネットワーク)
- 高尾山 山頂ビジターセンター (ほか)

[ネットワーク実績]

- Uの自然学校Gwホの親子アソシエイト・サマホ
- 森のようちん全国交流アソシエイト指導
- 環境教育関東ミーティング(新型コロナにより中止)

[考察]

LNTは、多くのエビデンスで裏付けられたシニアなワの願を
提唱した "outdoor ethics" (=環境倫理) とは位値付けされている。

原則の実践は確実にミニマムレポートに繋ぐこともできた。その内
には、多くの市民が ①「知り」、レポートに「あはれ」、思考を「応用」し、
④「実践」されたりと実質的な成果は存在している。

今回のレポート作成は主に①の部分を補完するプロセスであった。
このレポートがアワードで、日常生活に活用できる行動のモデルを
ネットワーク組織だけでなく、多くの公共施設が賛同し、配布に尽力した
ことで、より広域への訴求へとつながったと思う。

②~④はレポートを使ったワークショップによって補完された。特に子供
世代への訴求力が強く、あふすでは、ワークショップに参加した子どもが、
野みとゴミの問題に関心をもち、以降誰に指示されなくても、野外での
おしゃべりや処理をしたり、準備段階でバリエーションを外部配慮をすること、
確実な成果を生み出すことにつながった。

今後は、手元に残ったレポートの継続的な配布、啓発を続けて
ゆくとともに、ワークショップの開催機会を増やし、より具体的に
行動しつづける実践者の教育へと向けようとする。

この度の取り組みがよい結果を生みました。

Leave No Trace ってなに？

直訳すると「痕跡を残さない」こと。日々自然を利用しながら生き私たちにできることは、自然へのインパクトを可能な限り小さくすることです。それが「持続可能なヒトと自然の付き合い」に必要なことです。場所、対象、人数、活動内容によって、できることやレベルもまちまち。しかし、「LNT7つの原則」は、どんな現場でも応用できる考え方を教えてくれます。シンプルな行動の指針は、意識して行動するだけで確実なミニマムインパクトにつながります。

LNT は世界各地でこの概念を普及推進している団体です。



SDGs x LNT

国際コンセンサス SDGsのゴール実現に向けた具体的なアクションに、LNT は利用できます。LNT の原則を行動に移すことは、確実な環境へのミニマムインパクト(環境負荷軽減)に繋がります。これは SDGsが提唱する環境分野へのゴールへ繋がるアクションでもあります。例えば、「①事前の計画と準備」によって「つかう責任」が意識され、「③ゴミの適切な処理」はし尿類や排水を適切に処理することで野外の安全な水の確保につながります。そして LNT アクションは、その先に海の豊かさ、および陸の豊かさなどに繋がっていくものです。



ひの自然学校ってなに？

東京・日野市を拠点にキャンプや森のようちえん活動など、年間を通じて子どもや大人の自然体験活動を実践している団体。母体の「ひの社会教育センター」は1969年設立し、50年を迎える。社会教育推進施設として自然と人間の持続可能な取り組みを実践し、発信することを目的に、2017年度よりLeave No Trace.Org とオフィシャルパートナー登録をして国内の普及啓発に取り組んでいます。

LNT をもっと学ぼう ～ワークショップを依頼する～

LNT は1日のワークショップでさらに深く学ぶことができます。小学生～おとなまで対象者と関心に合わせたカスタムワークショップが可能です。

ワークショップ参加者には「Leave No Trace Outdoor Awareness」の修了証も発行されます。具体的な内容や費用はお問い合わせください。



お問合せ 公益財団法人社会教育協会
日野社会教育センター



〒191-0062 東京都日野市多摩平 3-1-13
TEL:042-582-3136 / Fax:042-581-0647
Mail: outdoor@hino-shakyo.com



地球を大切にするために
足元から行動を起こそう

自然のことを想う時、
どんな場面でも応用できる考え方、
それが「Leave No Trace(LNT)」です。
LNT の7つの原則をご紹介します。

1

事前の計画と準備

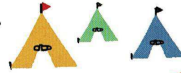
たとえば風で飛んでゴミになりそうな包装品を極力外しておいたり、混雑する時期や場所を避けたり。参加者にも持ち物をアドバイスしたりして、自然を少し気づかった準備で出発前から「できること」を。



2

影響の少ない場所での活動

活動をする場所は、大なり小なり自然にインパクトを与えるもの。活動の目的を達成しながら、できるだけ自然への影響を少なくするために「できること」を現場で考えて行動するのはどうでしょう。



3

ゴミの適切な処理

ゴミは適切に処分すること、自然にいい洗剤を選ぶこと、汚水や排泄物も適切に処理すること。などなど、できることはいっぱい。自分自身も気を付けて、スタッフみんなも気を付けて、子どもにも上手に伝えてみんなで実現しよう。

4

見たものはそのままに

必要以上に自然のものは採らないで、できるだけそのままにしておこう。自然の恵みをいただくときも、必要最小限にしておこう。



6

野生生物の尊重

野生生物には、彼らの本来の暮らしがあるはず。連れていく、本来無いエサを与える、食べカスを残すなどは、動物たちにとっていいことなんだろうか。本来の暮らしを尊重して守ってほしい。動物たちがゴミをあさらないようにするためにできることは？

Leave No Trace (LNT) 7つの原則

-原則を、現場に合わせて応用して、行動しよう-



LNTを
どうやって活かすの？



【活動中】

あらゆる活動シーンで、LNTを意識しながら自然のためにできる行動を取ってみよう。

【活動前】

活動の計画に沿って、LNTの具体的な取り組みを検討し、計画に取り入れたり、ミーティングで関係者やスタッフに共有、参加者にも教えてみよう。



【活動後】

活動のふりかえり時にLNTに沿った振り返りも実践してみよう。

5

焚火の最小限の使用



直火は地中の微生物を殺してしまいます。火を起こすときは、地中へのダメージにも配慮した方法を工夫しよう。「必要最小限」をどうやって実現するか、が工夫のしどころ。もちろん、地域の法規なども確認しよう。

7

ほかのビジターへの配慮

野外活動がみんなにとって「いいもの」になるように、人間お互いが心地よく過ごせる配慮をしあえば、不用意に活動場所も広がらない。結果的に、自然への影響もきつと少なくて済むはず。



くらしのこと市 くらしのアイデア。

-油汚れを、エコに洗おう-

重曹を上手につかって油流しを最小限に

カレーやシチューなど、鍋にこびりつく油汚れ。

キャンプのアイデアを使って油汚れを上手に洗って エコでよりステキな暮らしをめざそう！

STEP1: 準備するもの

重曹・クッキングペーパー・洗剤（エコ洗剤がベスト）・ヘラ・新聞など

STEP2: 手順

- ①油汚れをできるだけかき集める。
- ②重曹をふり、30秒～1分程度まつ。



【知っておきたい手順】

- ①油汚れをヘラでできるだけかき集める。
- ②重曹を降り、30秒～1分待つ。
- ③キッチンペーパーでこれをふき取る
- ④洗剤で洗う。（できればエコソープ）
- ⑤水ですすぐ。

油汚れの残ったカレーやシチューを、まずはかき集めましょう。

ゴム製のヘラなどを使うと結構キレイに集められますよ。

取った油汚れは、新聞紙などにふき取ろう。

ギリギリまでふき取ったところで、重曹を降りかけます。

そのまま1分程度置きましょう。重曹が油を中和させてくれますよ。

- ③キッチンペーパーなどでこれをふき取る。



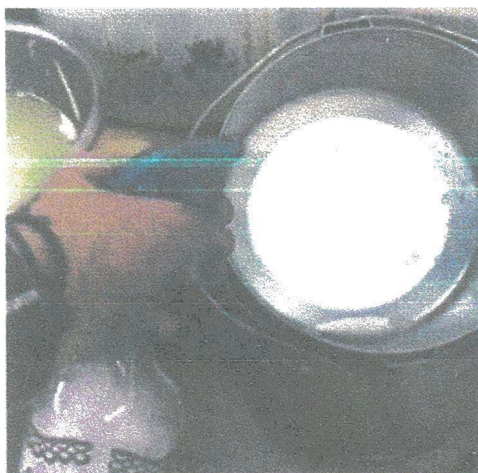
重曹をキッチンペーパーでふき取ります。

重曹をふって少ししたお皿やお鍋は油が取れやすくなります。

キッチンペーパーなどでできる限りキレイにふき取りましょう。

ここでできるだけキレイに拭きとくがポイント。

④洗剤で洗う。(できればエコソープ)



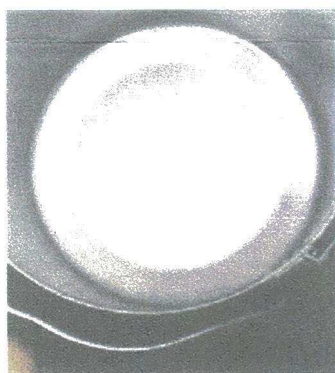
洗剤で洗う。

重曹で油分を取った鍋やお皿は、少量の洗剤でピカピカに洗えます。エコソープを希釈した洗剤でも十分なほど。

不必要な油や洗剤が下水に流れないのがエコ・ポイント！

たらいに洗剤を張ると、食器も全て1杯の洗浄水であらえちゃいます。

⑤水ですすぐ



一連の作業で簡単に、こんなにキレイに洗えます。。

下水が完備されている街中でも、できるだけ自然にダメージを与える油分や洗剤の流出は避けたいところ。

エコ生活を心がけて、より豊かなくらしを楽しもう！

ひの自然学校のオススメエコソープ「All things in nature」

「海を健康にしよう」をテーマに、開発されたエコソープ。
油汚れをしっかりと落としながら、水への分解率が24時間で94%
1週間後には100%分解されるというのが特徴。

洗濯洗剤から希釈すると食器洗剤まであらゆる洗剤として利用できるほか、
天然植物成分100%は手荒れしやすい人にも優しく、赤ちゃんにも優しい。
まさに、All things OKな洗剤。センターの窓口でも販売中。



Leave No Trace (LNT) とは、自然を利用するすべての人が、
環境に対する責任をもち、楽しく利用するための環境倫理プログラム。
それぞれ研究によって裏付けられた7つのシンプルな行動原則は、
あらゆる活動、あらゆるフィールドで使用することができるので
大変実用的でわかりやすい。

「暮らしの中にも自然への思いやりを」と、ひの社会教育センター
では、国内3番目のオフィシャルパートナー登録をしています。